

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月28日		記入者	連絡先	751-0091
部 名	生涯学習部	課 名	青少年課	課長名	田所哲男
事務事業名	青少年学習センター活動費				
予算上の事務事業名	青少年活動推進費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		14210		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します				
基本施策名	第2節 青少年の健全育成				事業開始年度
施 策 名	第1施策 青少年活動の促進				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市立青少年学習センター条例・同条例施行規則・各事業実施要項				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント				▼
5 事業概要	<p>(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)</p> <p>青少年健全育成を図るため、施設活用・各種主催事業を展開する。 ①青少年に居場所や交流の場を提供する。 ②青少年に自主的活動・社会参加的活動・自己表現の場を提供し、かつそれらの活動を支援する。 ③青少年に時代にふさわしい多様な体験学習の機会を提供する。 ④青少年関係の情報を収集し提供する。</p> <p>(2) 対象 (誰、何)</p> <p>概ね小学校就学年齢の児童から30才までの青年で構成される青少年団体。及び一般団体。</p> <p>(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。</p> <p>1. 体験学習・講座 中高生のボランティア体験講座10人、中学生国際講座「めざせ国際人」22人、小中学生講座25人、青年講座「茶道に親しむ」6人 2. あそびの学校の開催 12回 (月1回、延べ273人参加) 3. 広報紙「アルエット」の発行 年4回・・・4800冊×4回 4. 「青少年学習センター通信」の発行 月1回・・・1,300部×12回 5. 運営協議会の開催 年3回、協議会委員10名 参考 開館日数 353日、利用件数 6,246件 (平均17.7件/日)、利用者数104,678人 (平均296.5人)</p>				
6 関連・類似事業や他市の状況					
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事 業 費	1,536	1,095	2,263	3,308	3,308
一般財源	1,536	1,095	2,263	3,308	3,308
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	1,786	1,799	1,824	1,824	1,824
事業コスト合計	3,322	2,894	4,087	5,132	5,132
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	「あそびの学校」, 「yフェスティバル」			対象名称と単位	参加者人数 (単位人)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	1,429	1,019	2,105	2,022	2,022
対象数	2,419	1,285	1,123	1,291	1,291
単位あたり経費(円)	591	793	1,874	1,566	1,566
前年度比		1.34	2.36	0.84	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	参加者数／センター利用者数	指標式と指標の説明		2 イベント参加者。H15年度を指標100とする。単位；%	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2.6	1.3	1.1		
目標	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6
目標達成度（%）	100.0	51.2	41.2		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	達成目標率の経年変化、%	指標式と指標の説明		達成度15年度を100、19年度達成率75%を目標として逆算。	
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	100.0	51.8	41.6		
目標	100.0	57.2	63.1	69.1	75.0
目標達成度（%）	100.0	90.5	66.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
C	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		・センター利用者の参加率をアップする必要がある。 ・センター活用についてより積極的な広報を展開していきたい。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
・対象年齢別事業を統合して事業の充実を図る必要がある。			・受講者参加者が少ない。 ・受講者参加者が近隣居住者に偏っている。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		事業所管課の課長による評価（今後の方向性）のとおり、見直しとする。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			